JR総連

http://www.jr-souren.com

2015年
7月15日
第204号
（7月15日号）

発行所
全日本鉄道労働組合総連合会
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
03（3491）7191 FAX 03（3491）7192
e-mail jr-souren@hkg.odn.ne.jp
発行人 武井政治 編集人 永島 守

毎月15日発行 定価1部70円（組合員の購読料は組合費に含む） 本紙は再生紙を使用しています。

戦争法案廃案！ 強行採決反対！

7.14大集会に2万人超が結集！

日比谷野音をうめつくす参加者

安倍政権のすすめる安保法制関連法案などの戦争法案を廃案にすべく、全国各地で戦争法案反対の集会や行動が取り組まれている。

7月14日、戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の「戦争法案廃案！強行採決反対！ 7・14大集会」が日比谷野外音楽堂で開催され、2万人を越える人たちが参加、JR総連も250名で参加をした。日比谷野音に入りきれない参加者で会場周辺は埋め尽くされた。

JR総連参加者は、「安保関連法案反対」「強行採決反対」「憲法改悪反対」を訴え、整然とそして力強く国会請願行動を行ってきた。

JR総連は、憲法違反の戦争法案反対、憲法改悪反対を訴え、すべての仲間と共に奮闘して行く。

請願行動を行うJR総連デモ隊

強行採決弾劾！みんなの力で戦争法案を廃案にしよう！

7月15日、「安全保障関連法案」が衆議院特別委員会で自民・公明両党の賛成により可決された。

民主党と連合は7・15緊急院内集会を開催、たしろ参議院議員も参加した。民主党・蓮舫議員は「強行採決を許さない。廃案に向け院内・外のすべての人たちと共に闘う」と挨拶した。連合・古賀会長は「戦後70年、平和・人権・民主主義を後世に引き継ぐことが責務。この危機を民主党と共に行動していく」と述べた。

世論の58・7％がこの戦争法案に「反対」、今国会での成立に63・1％が「反対」（共同通信世論調査）となっている。内閣支持率も大幅に下がってきてはいるが、法案成立へのアクセルは緩めていない。

法案の成立阻止に向け、連日全国各地で集会が開催され、「戦争法案反対」の声をあげている。今こそ、国会と国民が一体となって廃案に追い込んでいかなければならない。

JR総連は、戦争法案に反対するすべての仲間と連帯し、廃案にむけ闘っていく。

安倍内閣支持率
（NNN世論調査2015年7月10～12日）

	支持する	支持しない	わからない
今回（7月）	39．7％	41．0％	19．2％
前回（6月）	41．1％	39．3％	19．6％

	最　高	最　低
支持する	65．7％（2013年4月）	39．7％（2015年7月）
支持しない	41．0％（2015年7月）	16．6％（2013年4月）

国際シンポジウム
「『福岡事件』から考える死刑と再審」に参加!!

JR総連は6月26日、参議院議員会館で開催された国際シンポジウム「『福岡事件』から考える死刑と再審」にJR東労組の仲間やたしろ参議院議員と共に参加した。

今年は冤罪「福岡事件」で28年間無実を叫び再審を求め続けた元死刑囚 西武雄さんが突然処刑（1975年6月17日）されて40年に当たる。死刑廃止は国際社会の大きな流れで、2013年12月末現在、死刑を廃止又は停止している国は140か国、いわゆる先進国グループであるOECD（経済協力開発機構）加盟国（34か国）の中で死刑制度を存置している国は、日本・韓国・米国の3か国しかない。しかし、韓国と米国（50州）の19州は死刑を廃止又は停止しており、死刑を国家として統一して執行しているのは日本のみだ。

ゲストスピーカーの米国西コネチカット州立大学のジョージ・ケイン助教授は「米国では死刑廃止19州に加え、あと3州で死刑廃止の州法が成立しようとしている。そのほかに5州が死刑執行を停止させている。あと2州、3州、死刑廃止をする州が出てくれば、連邦最高裁も死刑廃止に踏み切るかもしれない」と報告されており、日本も真剣に死刑廃止について考える時期にきている。

2015年度各単組の定期大会が終了しました。新体制をお知らせします。

単組名	委員長	副委員長	書記長	書記次長
JR北海道労組	鎌田 寛司	酒井 勝彦	笹森 哲也	
JR東労組	吉川 英一	村田 俊雄／斉藤 弘敦／奥山 光昭／山口 浩治／坂本　浩／坂本 和男／鈴木　昇／稲垣　勉	柳　明則	
JR東海労	小林 光昭	高原 順哉／木下 孝尚／船出 信政／成田 隆浩／山本 繁明／山田 哲也／小林 國博	木下 和樹	
JR西労	安田 昌史	西村　勝	前川　誠	
JR貨物労組	相澤 武志	松村 愼一／定国　彰	税田 憲由	
システム労	林　幸治	伊島 達也	高橋 岳志	小山 修一
鉄研労	西岡 英俊	中橋 順一／間々田 祥吾／渡邉　諭	土井 久代	兼松 義一／渡辺 勉
テレコム労組	中島 順也	吉村 真治／玉田 恒介／岩田 雅美／小池 康隆／櫻庭 亜希子	徳田 和彦	玉木　敦

JR総連第1回執行委員会で特執に淵上利和（JR東海労）が選出され政策・政治担当部長となりました。
聚楽労組は7月21日が大会となりますので次号でお知らせします。

連合 人権フォーラムに参加！
拉致問題とえん罪事件の解決を訴える！

6月29日、連合は、JR上野駅前において「拉致問題」および「えん罪事件」の解決を訴える街宣行動を行い、JR総連も参加した。街宣では、連合神津事務局長、拉致被害者家族会・増元事務局長、えん罪狭山事件の石川さんの三人が壇上で訴え、同時に通行者にチラシ配布をおこなった。

狭山事件の石川夫妻と金監督

終了後の連合「人権フォーラム」では北朝鮮による拉致被害者家族連絡会の増元氏より「北朝鮮による拉致問題の現状と課題」について講演があり、今後の協力が呼びかけられた。続いてUAゼンセンより「UAゼンセンの拉致問題への取り組み報告」がされた。組合員と家族が拉致被害者となっており、継続して取り組んでいることが報告された。

狭山事件の石川一雄さんと早智子さん夫妻と金映画監督によるパネルディスカッションでは「人生に悔いがないという石川さんとそして幸せそうな二人を紐解くために映画にしようと思った」「映画をとっていて石川さんは間違いなくやっていないし、えん罪であることを確信した」と金映画監督は語った。石川さんは権力によるでっち上げにより52年間、殺人犯という汚名は着せられ現在も闘っている。

JR総連は「えん罪事件」を許さず、人権、平和、民主主義を守るためにすべての仲間とともに今後も奮闘していく。

参議院議員 たしろ かおる 便り

6月22日、民主党をはじめ野党が反対する中、安倍政権は衆議院本会議において、今国会の95日間延長を決めました。通常国会として過去最長の大幅延長とした背景には、与党が指名した参考人含めた憲法学者3人の全員が審議中の安全保障法案を「憲法違反」と断じ、他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法案が憲法の枠内だと主張する政府見解を覆したことが大きく影響していると思います。「安全保障法制」の本質を隠して名付けた「戦争法案」の問題が市民の知るとことなり、内閣支持率が急落したにも関わらず、今国会で成立させるとばかりに「時間をかけて国民の皆さんに丁寧に説明する」「十分な議論をするため」といった口実をつかい、更に「再議決60日ルール」を計算にいれた既成事実作りの延長に過ぎません。

現在、約4000人の憲法学者、歴代内閣法制局長官、文化人、知識人の方々が「違憲」を表明し反対の姿勢を鮮明にしています。また、連日国会周辺を取り囲む市民の数は日ごとに増え、女性や若者達が大勢集まり「反対」の声をあげています。

7月15日、衆議院特別委員会で戦争法案が強行採決されましたが、廃案に追い込んでいくために共に頑張りましょう！

ホームページリニューアル

たしろ議員とつながろう！
Facebookにいいねしよう！

JR総連青年協
第16回定期総会を開催！

JR総連青年協議会は7月12～13日、東京で第16回定期総会を開催した。福田議長はたしろかおる応援プロジェクトに組織の総力を傾注していくこと、平和、安全、春闘について議論し闘いをつくることを提起。また、青年協議会が「自民党憲法改正草案」についての職場討議資料を発行した。

質疑では、職場での闘い、JR西労の踏切事故原因究明や組織拡大の取り組み、JR総連の枠を超えた平和に関する意見広告の取り組み等の成果や教訓が発言された。

2日目はたしろかおる参議院議員があいさつ。平和や安全について、職場と国政が一体となる闘いをするとの決意を受け、たしろかおる応援プロジェクトについて集中議論。プロジェクトを通じて職場の実態を把握し、問題点の解決に取り組む成果や教訓を出し合った。

提案された方針は満場一致で採択。たしろかおる応援プロジェクト、安全、生命、平和を守る取り組みの中で組織強化を進めることを確認した。

JR総連は青年協議会と連携し、たしろかおる応援プロジェクトを中心とした運動の前進を勝ち取っていく。

真剣な議論の青年協

モンゴル鉄道労組連盟との交流
結成60周年記念式典に参加!

6月22～25日、モンゴル鉄道労組連盟との交流がモンゴル・ウランバートルで行われ、JR総連から武井委員長ほか5名で参加した。

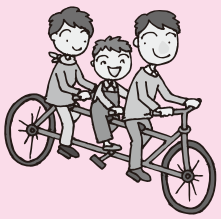
モンゴル鉄道労組連盟の結成60周年記念式典で武井委員長は「JR総連とモンゴル鉄道労組連盟は昨年11月に交流協定を締結。きっかけはエルデネ委員長から安全問題を中心に交流したいと政治的弾圧をうけていることも理解したうえで呼びかけていただき実現した。そして国際労働者交流センター（ICLS）にも加入していただいた。世界はグローバル経済、新自由主義が席巻しており、いまこそ労働者の団結と連帯が重要。鉄道労働者として安全を追求するため切磋琢磨していこう」と連帯の挨拶を行った。

翌日は、チンギス・カーンがおさめていたモンゴルの文化と伝統を感じてきた。大自然の中での交流で一層親睦が図られた。

JR総連は今後もモンゴル鉄道労組連盟との国際交流を強化していく。

武井委員長とエルデネ委員長

あなたと家族に安心届けます。保険はまかせてください。



JR総連・各JR労組賛助団体
㈱鉄道ファミリー
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 TEL 03(3490)3862 JR(058)4114・5

《取扱商品》
▲ 自動車保険・組合主催行事保険・ゴルファー保険
▲ がん保険・医療保険
▲ ＪＲ積立年金
▲ 組合旗・組合バッジ・ゼッケン
▲ 健康食品・自然食品・お茶・みかん